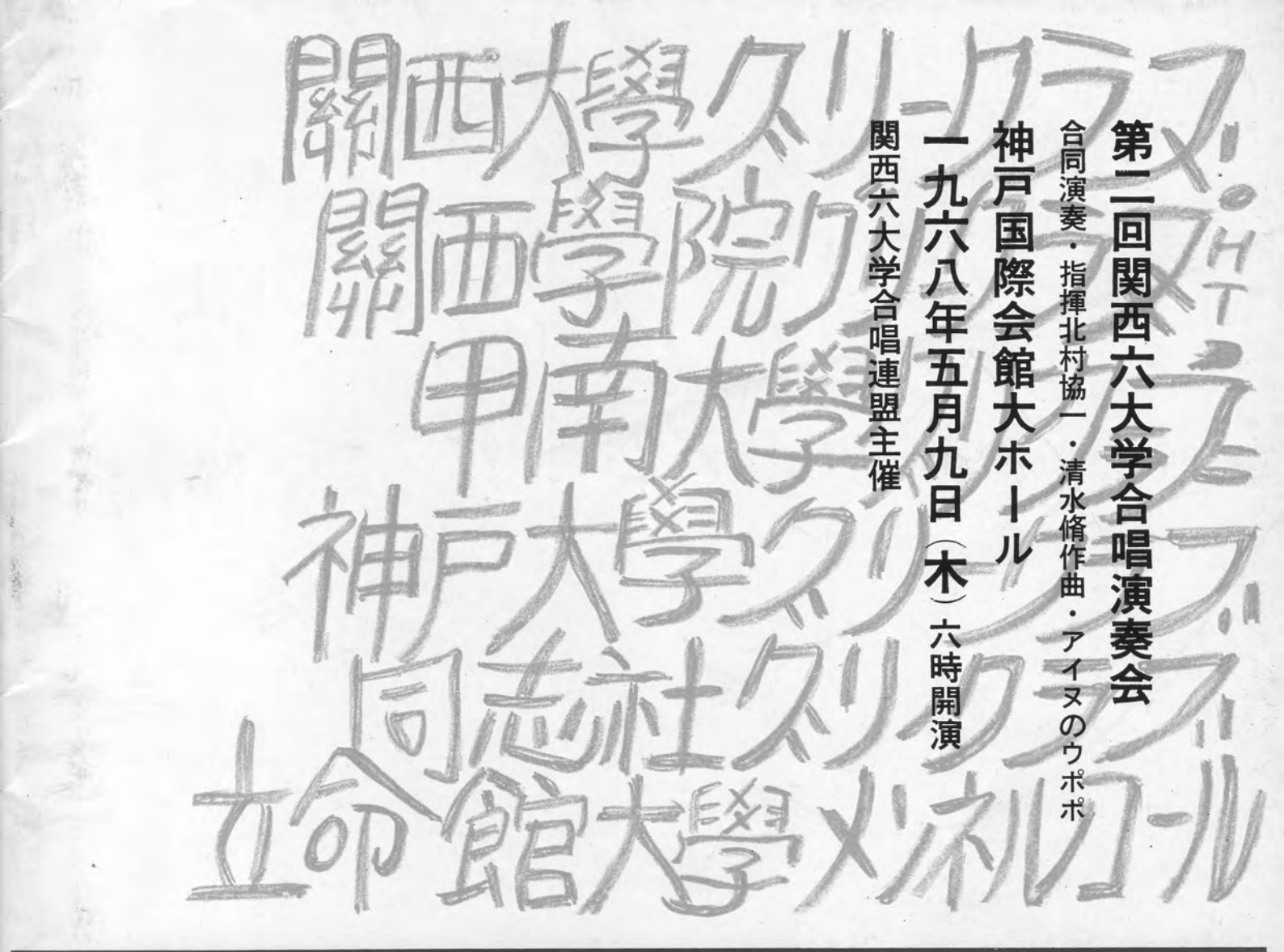


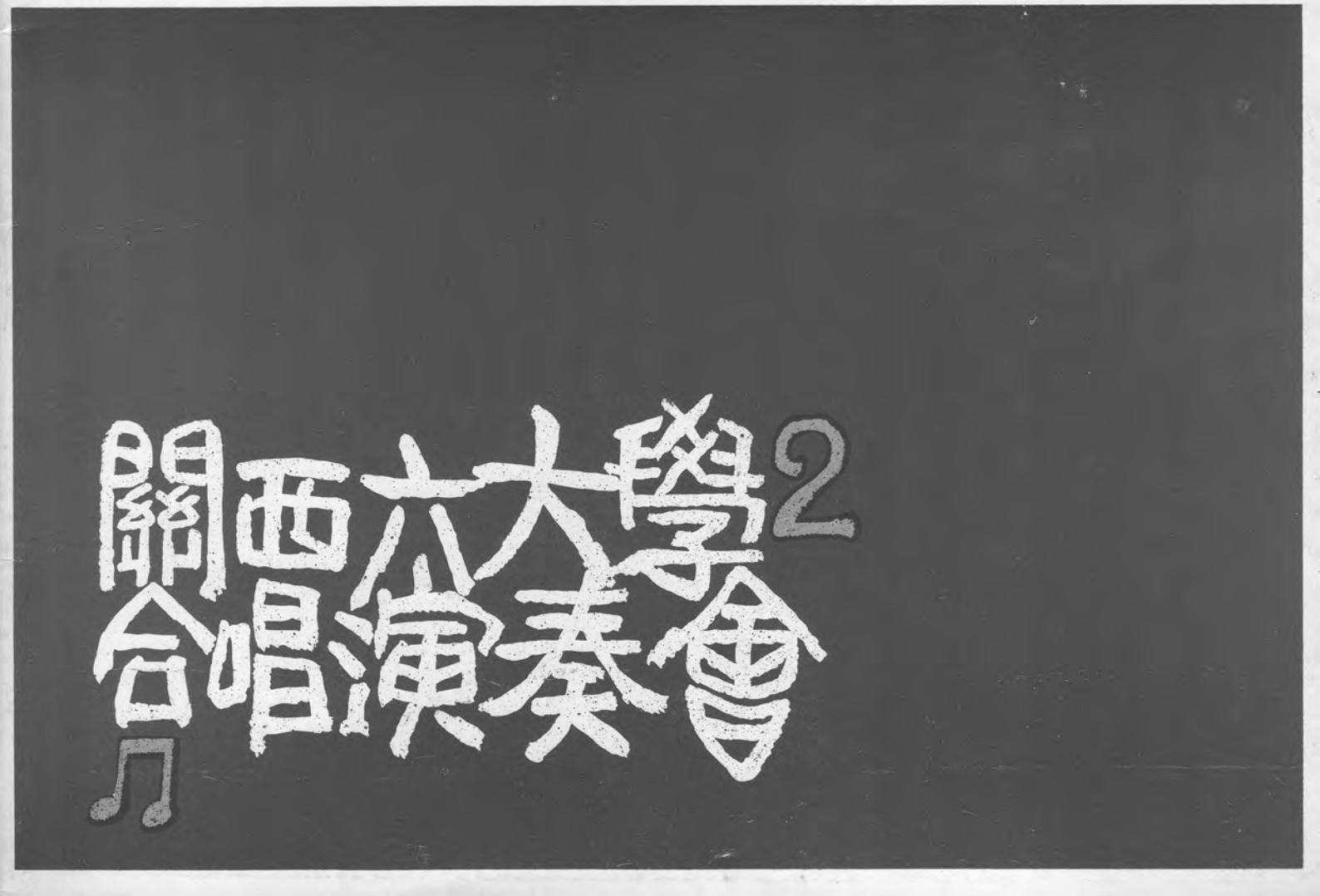
第二回関西六大学合唱演奏会

合同演奏・指揮北村協一・清水脩作曲・アイヌのウポポ

神戸国際会館大ホール

一九六八年五月九日（木）六時開演

関西六大学合唱連盟主催



第二回関西六大学合唱演奏会

関西六大学合唱連盟主催

1968. 5. 9（木）PM 6:00

神戸国際会館大ホール

神戸大学グリークラブ
立命館大学メンネルコール
甲南大学グリークラブ
関西学院グリークラブ
関西大学グリークラブ
同志社グリークラブ

KOBE UNIV. GLEE CLUB
RITSUMEIKAN UNIV. MÄNNER CHOR
KONAN UNIV. GLEE CLUB
KWANSEIGAKUIN GLEE CLUB
KANSAI UNIV. GLEE CLUB
DOSHISHA GLEE CLUB

本日、ここ神戸の地に第２回関西六大学合唱演奏会を開催するにあたりまして、音楽を愛され、合唱を楽しまれる皆様方多数の御来場を得ましたことは、私達の大きな喜びとするところであります。

幾多の屈折を経て、私達はようやく、今年で二年目をむかえる事となりました。私達は京都・大阪・神戸の六男声合唱団により構成されています。私達は、この六合唱団の合唱技術の向上と、お互いの親睦を計るために結成されたのであります。

本年度は、その目標達成のため、本日ここに演奏会を開催することとなったのであります。

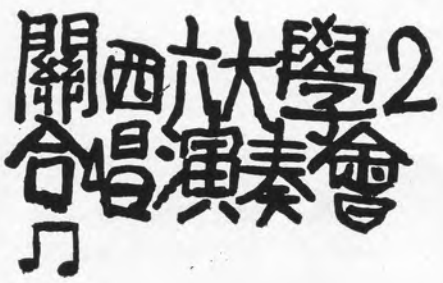
演奏会の意義云々は、それをいかにうけとめ、それに対していかに努力するかによるものです。私達は、この演奏会において、私達の練習の成果と、私達の感動を披露したいと思っております。またそこに意義を見出だしたのです。

六男声合唱団は、その伝統、気風を異にしています。また、そのスケジュール・方針もまちまちであります。そのような私達を結びつけているのは、音楽――合唱以外の何物でもありません。私達に共通していえることは、私達は合唱する若者であるということです私達は、音楽的感動を求めて、日夜の練習に励んでいるのです。歌っている時、胸がジーンと熱くなる一瞬があります。それこそ、私達の長い苦しい練習の成果なのです。私達はその一瞬のために練習を積むのです。

私達は、今までに、多数の困難にぶつかってきました。それを乗り越え得たのも、私達に信頼と友情があればこそと思います。今後、さらに、充実したものとするため、私達は一層の努力をする覚悟です。

初夏のさわやかな今宵、私達の若き情熱の歌をお聴き下さい。

最後に、この演奏会の開催にあたり、御援助下さいました皆様方に厚く御礼申し上げますと共に、関西六大学合唱連盟の一層の発展のため、よろしく御指導賜わりますよう御願い申し上げます。



メッセージ

MESSAGE

全日本合唱連盟理事長　清　水　　脩

関西6大学合唱演奏会は今年第2回目を迎えるという。加盟の合唱団はいずれも力のある、トップクラスの団体であるから、6大学合同としての歴史は浅くとも、すでに関西の名物となっていると想像する。

大学グリークラブとは、一体何だろう。私は時々懐疑に陥ることがある。当の学生諸君に、私は卒直に設問することがある。その時かえってくる応答の最大公約数は〝合唱音楽の追求〟とか、〝メンタル・ハーモニーの体験〟とかである。事実それは〝美しい回答〟である。しかし、私はそこに何か一つ欠けているものがあるように思う。それが何であるかを私は知りたい。それを理解させてくれる最上のチャンスは、このような交歓演奏会ではないかと思う。聴衆の諸君ノ〝学生の合唱のあり方、その目的〟などについて、今夜はじっくり考えていただきたい。各合唱団の誠実な演奏を〝楽しみ〟ながら……

合同演奏指揮　北　村　協　一

新しいメンバーで、関西六大学合唱連盟が結成されて、はやくも2年。ようやく、その基礎も固まり、今や、日本合唱界における代表的な演奏会になろうとしています。

それぞれ、伝統・気風は異っていても、合唱を通じて、音楽性を追求しようという、共通の場にある若い諸君が、日頃練習を積み重ねたその成果を、今日ここに発表する事を大いに期待しております。

今日、合同演奏には、アイヌ民謡の中から清水脩作曲の男声合唱組曲「アイヌのウポポ」を選んでみました。

合同演奏というのは、単独の演奏とは異なり、演奏の機会があまりないと思います。それだけに、小合唱では表現することのできない合唱を、今宵は二百余名の若者が、その若いエネルギーをぶつけ、力強く歌い上げることでしょう。

六連の演奏会が今後さらに発展することを願ってやまない。

大学合唱の権威において

関西合唱連盟理事長　長　井　　斉

わが国の合唱音楽は、大学の合唱によって開発され、今日の隆盛に至っていることはすでに一般の諒知するところと思いますが、現在わが国アマチュア合唱の在り方にしばしば批判の声を耳にするのは、それに携さわる者の合唱音楽に対する見方が、単に趣味とか娯楽と云った面から観賞に傾き、真の意味での厳しさを無視している所謂愛好者の多い結果によるのではなかろうかと考えるのです。

そのような状態を打破する意味に於ても、ここに展開される関西の大学合唱を文字通り代表する六大学の演奏こそ、われわれ日頃の切なる願いが実現されるであろう歓びが強く期待されるのです。

どうか、今日出演の諸君におわれても、関西大学合唱の権威に於て、その意義と責任を感じて、熱演を披歴されるよう祈念して祝辞とする次第です。

東京六大学合唱連盟

六甲の山並みの緑も映えて、晴れ上がる空の青と対話して、さぞ美しいことでしょう。

恒例の第2回関西六大学合唱演奏会を、六連史上初めて神戸において迎えられます由、心からお慶び申し上げます。

輝かしい伝統を持ち、高度の水準を維持している関西六大学の演奏会であれば、音楽を愛する方々の期待も、さぞや大きいことでしょう。

大学の合唱団は、毎年多くの人が入れかわってゆくため、合唱音楽の伝統や、技術の水準を保ってゆくことは、非常に困難なことです。今宵は、その水準の維持のため、さらには新しい境地の開発のために積み重ねられた日頃の努力を、ここに遺憾なく発揮されることを切望してやみません。

日頃から、各交歓会などでおつきあい願っている私達にとっても、この演奏会は、お互いが前進してゆく上に非常に大きな意義を見いだすのです。

今後も、一段と東西の交流を深め、良きライバルとして、日本合唱界の推進力となってゆきたいものです。

今宵の演奏会が、大成功を収められんことを心からお祈り致します。

PROGRAM

第二回　関西六大学合唱演奏会

Ⅰ　**エール交歓**

Ⅱ　**関西学院グリークラブ**　　指揮　淵上　融
ミサ曲　　作曲　M. Welcker

Kyrie
Gloria
Credo
Sanctus
Benedictus
Agnus Dei

Ⅲ　**関西大学グリークラブ**　　指揮　辻井省三
大手拓次の三つの詩　　作詩　大手拓次
作曲　清水脩

とじた眼に
みずいろの風よ
しろい火の姿

Ⅳ　**立命館大学メンネルコール**　　指揮　真田寛
男声合唱のためのコンポジションⅢ　　作曲　間宮芳生

艫
羯鼓
引き念仏

Intermission

Ⅴ　**同志社グリークラブ**　　指揮　桑山博
Glees, Madrigals and Airs
編曲　MARSHALL BARTHOLOMEW

Ah, How Gladly We Believe　PURCELL
How Merrily We Live　ESTE
The Bells in the Steeple　SAMMARTINI
Turn, Amarillis, To Thy Swain　BREWER
We Be Soldiers Three　ANONYMOUS
Punch, An Emblem of the Medium of Life　ARNE

Ⅵ　**甲南大学グリークラブ**　　指揮　嶋村光彦
月光とピエロ　　作詩　堀内大学
作曲　清水脩

月　夜
秋のピエロ
ピエロ
ピエロの嘆き
月光とピエロとピエレットの唐草模様

Ⅶ　**神戸大学グリークラブ**　　指揮　丹下良祐
Ritornelle op.65　　作詩　Friedrich Rückert
作曲　Robert Schumann

Die Rose stand im Tau
Laβt Lautenspiel und Becherklang nicht rasten
Blüt' oder Schnee! Lust oder Weh!
Gebt mir zu trinken!
Zürne nicht des Herbstes Wind
In Sommertagen rüste den Schlitten
In Meeres Mitten ist ein offner Laden

Ⅷ　**合同演奏**　　指揮　北村協一
アイヌのウポポ　　採譜　近藤鏡二郎
作曲　清水脩

くじら祭り
イヨマンテ（熊祭り）
ピリカピリカ
日食月食に祈る歌
恋　歌
輪舞（リムセ）

・Profile

北村協一（指揮者）

昭和29年関西学院大学経済学部卒業。在学中、関西学院グリークラブの指揮者として活躍。卒業後、東京コラリヤーズ入団。昭和31年同団の指揮者ルナ・アルモニコの指揮者等を経て、昭和26年藤原歌劇団入団。合唱部クールプティー専任指揮を務め、昭和38年6月同団によるプッチーニ「外套」を指揮、オペラ指揮者としてデビュー。昭和40年退団。現在東京コラリアーズ指揮者。グリークラブ渡米指揮者。畑中良輔、森正、今村征男の各氏に師事。

曲目解説
PROGRAM EXPLANATION

関西学院グリークラブ

Max Welckerのミサ曲

Kyrie　主なる神とキリストに憐みを乞い願う祈り。

Gloria　三位一体の神を讃美しており、キリスト降誕のとき、天使の唱う詞〝いと高きところでは神に栄光あるように、地の上ではみ心にかなう人々に平和があるように〟（ルワ伝２章13節）より歌い始められている。

Credo　聖書及び教会を通じて教えられた事を全て信ずると告白するのがこの部分の内容で最初ユニゾンにより唯一の神を信ずる事が厳かに歌われ曲が始まる。

Sanctus　〝聖なるかな、聖なるかな、万軍の主、主の栄光は天地に満てり〟と主を讃美している。（イザヤ書6章3節の詞）

Benedictus　〝主の名によりて来り給えるもの祝せられ給え〟とキリストを歓迎する讃歌である。

Agnus Dei　〝世の罪を除き給う神の子羊、我等に平安を与え給え〟と敬虔な祈りと荘厳な静けさに満ちています。

ミサの語源はカトリック教会で礼拝終了の時に司祭補が Ite missa est（去れ会合は終りぬ）と唱った事実による。即ちミサは本来教会の会合である。イエスは死の直前に所謂最後の晩餐でパンとブドー酒を祝し自分の体と血にかえて使徒達に与え「これを、わが記念として行なえ」と遺言した。これが最初のミサである。そしてこのミサが次第に一定の儀式に発達したのである。

儀式は祈る、聴く、捧げる、授かる、と云う調和の中に行なわれる。この内唱われるものは主に祈りの部分であり、この事からも音楽上のミサが「祈り」であった事は明らかである。本来の古いミサ曲は、Plain song でありグレゴリア聖歌として記録されている。

対位法が用いられる様になってから作曲家達は Plain Song の旋律を競って、ポリフォニクのミサに編曲しそれらは二部、四部、六部八部、十二部から四十部合唱のもの迄現われた。

十六世紀の後半に至って未曽有の芸術的発展と、美的完成を示した。古来幾多の作曲家がミサ曲を発表し、音楽的に優れた作品も数多く有るが、中には礼典の為の音楽と云うよりは、演奏会用の音楽と思われる様なものも有る。

関西大学グリークラブ

大手拓次三つの詩

大手拓次 作詩
清水脩 作曲

大手拓次は明治20年群馬県に生まれ、幼時に両親を失い祖父母の溺愛を受けて育ったことが彼の内気な性格を形成したのでしょう。昭和９年生涯独身のまま茅ケ崎で病没しましたが、彼の詩から感ずるように、非常に感覚的であり、特に言葉の発音からくるイメージを詩情に合一させることに異常なまでの偏愛を示しています。

美しくも純潔な彼の48歳の童貞生涯は全く、ミューゼに捧げたカトリック的献身だったのです。この特異な詩人の本領は性の悩ましいエロチシズムの或る妖しげな夢をもったプラトニックの恋愛詩に尽きるです。

不思議な妖術を持つ変化の詩人。

カトリック寺院の密室から香炉の煙に漂う異形な幻影を見せる詩人。

純情無比なリリシズムとプラトニックな夢を持っている一風変った浪漫詩人、大手拓次。

彼の幻想と五官の織りなす、豊満なアラベスク。言葉と詩とが音楽的な響きをもって一つの紐で結びつけられ、互に抱き合って情死して居るといった感じがします。とにかく彼の詩の言葉は非常に美しく抒情的で、その上に全く音楽的であります。なお

今宵、お聞かせ致します「大手拓次の三つの詩」、１とじた眼に、２みずいろの風よ、３しろい火の姿、は1960年清水脩が東海メール・クワイヤーの求めに応じて作曲したものであり、拓次の詩を合唱曲として作曲した最初のものであります。

立命館大学メンネルコール Ⅲ

男声合唱の為のコンポジション

ふるさとという言葉にはロマンがある。
そのやわらかい響きの中に、
人々はやすらぎを求めるであろう。

ふるさとには歌がある。
遠い昔から歌い受けつがれてきた諸々の歌。
そんな歌に
人々は祖先の祈り、喜び、苦しみを知るだろう。

この曲は一連の合唱の為のコンポジション・シリーズの３番目にあたるもので、男声合唱曲として作られたものである。このシリーズで共通なことは、素材が日本の民謡、民俗、芸能、わらべうたなどによられていることである。このことは、人間の声こそ、永遠かつ最上の楽器であり、すべての音楽現象の要として、人間の声と、おどりのリズムの中には、音楽の発想の根源の力があり、人間のうたは言葉に内在するリズムや旋律的なパターンとの結びつきによって、音楽の民族的発想の把握にとって、ことに重要なジャンルだという、作曲者自身の考えに基くものである。

曲は３つの楽章から成り、Ⅰ「艫」は東北地方や千葉県の艫押の唄と網起しの唄が。Ⅱ「羯鼓」は北陸地方の田植唄と東京都下小河内のかぐらの芸能が。Ⅲ「引き念仏」は、岩手県の念仏剣舞や鹿踊りのうたや、「口唱歌」（太鼓のリズムや打ち方を、おぼえたり、口伝えに教えてゆくためのうた）がそれぞれ素材として取扱われている。なおこの曲は、1963年、慶応義塾ワグァル・ソサエティー男声合唱団の委嘱で作曲されたものである。

同志社グリークラブ

Glees Madrigals and Airs

マドリガルは14世紀の頃、イタリア各地の官廷を中心に教養ある音楽家が当時流行の単調なフロットラより芸術的に洗練されたものを目的に作られ始めた声楽曲で、語源的母国語の詩の意味をもつマドリガーレ madrigale、あるいはひつじの群（mandra）に由来する牧歌（mandriale）からはじまったといわれている。

マドリガルには、詩形に忠実な14世紀のタイプとより自由で音楽的に豊かな16～17世紀初期のタイプの2つがあり、両者は本来が牧歌的抒情詩であるマドリガーレを歌詩とする点では共通するが、作曲手法と形態については、ほとんど関連がない。本日演奏するマドリガルは後者即ち16世紀の末、イギリスにおいて盛んになったイギリスマドリガルである。イギリスマドリガルは本質的にはイタリアとくにマレンツイオの影響が著しいが、英語固有のアクセントやイギリス的気質を反映して旋律、リズム、和声、すべてにイギリスの国民性を感じさせる芸術となっている。

なお本日演奏される曲はすべてアメリカのエール大学の指揮者であるマーシャル・バーソロミューの手によって選ばれ編曲されたものである。

甲南大学グリークラブ

男声合唱組曲「月光とピエロ」は堀口大学のピエロをうたった詩を集め、その儚い運命を、そのペーソスを、陰影に富む表現で清水脩によって歌い上げられた作品です。ピエロならずとも、人間はいつの時代でもそのような悲しい一面を背負ってきているのではないでしょうか。因みにこの曲の発端は昭和23年まず第二曲の「秋のピエロ」が第3回全日本合唱コンクールの課題曲として世に出され、翌年作曲者の指揮していた東京男声合唱団の為に他の4曲が加えられ同合唱団によって初演されたものです。さて今宵甲南グリーがそのような人間の側面を、且つ5つの曲のもつそれぞれの内面的なポエティカルセンティメントを、どれ程まであるいはどのように表現できますでしょうか、篤とご鑑賞いただければ幸いです。

月光とピエロ

Ⅰ　月　　夜

月の光の照る辻に
ピエロさびしく立ちにけり。

ピエロの姿白ければ
月の光に濡れにけり。

あたりしみじみ見まわせど
コロンビイヌの影もなし。

あまりに事のかなしさに
ピエロは涙ながしけり。

Ⅱ　秋のピエロ

泣き笑いしてわがピエロ
秋じゃ！　秋じゃ！　と歌うなり。

0の形の口をして
秋じゃ！　秋じゃ！　と歌うなり。

月のようなる白粉の
顔が涙を流すなり。

身すぎ世すぎの是非もなく
おどけたれどもわがピエロ

秋はしみじみ身に滲みて
真実なみだを流すなり。

Ⅲ　ピ　エ　ロ

ピエロの白さ！
身のつらさ！

ピエロの顔は
真白け！

白くあかるく
見ゆれども

ピエロの顔は
さびしかり！

ピエロは
月の光なり！

白くあかるく
見ゆれども

月の光は
さびしかり！

Ⅳ　ピエロの嘆き

かなしからずや身はピエロ、
月の孀の父無児！
月はみ空に身はここに
身すぎ世すぎの泣き笑い！

Ⅴ　月光とピエロと
ピエレットの草唐模様

月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット
踊りけり、
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット
歌いけり
ピエロ、ピエレット。

踊りけり、
ピエロ、ピエレット。
歌いけり、
ピエロ、ピエレット。

踊りけり、
歌いけり、
ピエロ、ピエレット
ピエロ、ピエレット。

月の光に照らされて
ピエロ、ピエレット。
ピエロ、ピエレット。
月の光に照らされて。

神戸大学グリークラブ

リ ト ル ネ レ

（三行詩）　　シューマン　作曲
リュッケルト　作詩

シューマン（1810—1856）は、ドイツがまだ封建的、貴族的な小国家群をなしていた時代に、自由と真に価値ある国家をつくり上げようとする祖国愛とに燃えた作曲家です。

彼は、少年時代から音楽においてはガキ大将で、まわりの子供達を集めては、小さな管弦楽団を組織して、彼はそこで指揮とピアノを受けもっていました。たまたま演奏を聞いた父に賞められ、褒美に譜面台などを与えられたものですから、いよいよ夢中になって、さらに高度な音楽へと取り組むようになりました。しかし、16才にして、彼と彼の音楽の良き理解者であった父を亡くし、母の強い意向もあって、法律を学ぶことになった。しかし音楽をやめることはせず、ライプツィヒ大学の法学部に進んだ後も、同僚たちと三重奏などの小さな演奏会を開いたりしていた。そのうちに、音楽教師のヴィークに知り合った。このヴィークの娘が、のちに彼の片腕であり、よき保護者であり、よき妻となるところのクララである。クララはシューマンより9才年下ではあったが、ピアノは達者で、これがシューマンを刺激しないではいなかった。彼は無理な練習の末に指の障害をひき起して演奏を断念せねばならなくなった。その後は、執筆と創作と後進の指導と紹介とに励んだ。

このようにして始った彼の作曲活動の中で男声合唱曲は、37才に男声合唱団〝リーダーターフェル〟の指揮者に就任したときから、大きな比重をしめるものとなった。彼はロマン派の詩人たち、アイヒェンドルフ、リュッケルト、クロプストック、ラウベなどによる詩に作曲した。

彼の作品は、簡潔で、彼独特の感受性と彼自身の生きる姿とをありのまま表現されており、飾り気のないのが、シューマンの魅力であり、醍醐味でもあろう。

男声合唱のためのカノン風

リトルネレ　　op65（1847年）

作詩者のリュッケルト（1788—1866）は、東洋文学の紹介者で、ベルリン大学で教鞭をとり、彼の作品は、シューマンのほか、シューベルトやブラームス、マーラーらによっても数多く作曲されている。

Ⅰ　バラにおきし露
バラにおきし露、黒真珠。
陽(ルビー)をうけて
紅玉となれり。
（Tenor Ⅰと Bass Ⅰ とが下5度のカノン。）

Ⅱ　ラウテと乾杯の音
ラウテと乾杯の音を休めるな
若き饗宴(うたげ)の続くかぎり！
謝肉祭(カーニバル)が終れば、それから大斎の断食がやってくる。
（Bass ⅠⅡⅢが1度カノン〔輪唱〕）

Ⅲ　花か雪か
花か雪か！　快楽か苦痛か！
一陣の微風生命の木をゆすらば、
春冬の夢たちどころに消え失せり。
（Tenor ⅠⅡⅢが1度カノン。）

Ⅳ　我に酒を
我に酒を！
運命なるこの生を変ふことならずとも、
酒杯(グラス)の輝き、我にそを忘れしむるなり。
（Bass ⅠⅡⅢが1度カノン。）

Ⅴ　秋風をうらむな
バラを奪う秋風に腹を立ててはなりません。
それよりも秋風が息を荒々しくする前に
素早くバラをお摘みなさい。
（Tenor Bass ともⅠⅡが5度カノン。）

Ⅵ　夏の日にソリを
用意せよ
夏の日にソリを。
そして車を、冬の間に。
（Tenor Bass がカノン。）

Ⅶ　海の中の店
海の中には開店中のお店があります。
そこでは商家の妻が
絹糸や、金の帯ひもを売っています。

海の中には厳かな祭壇があります。
御婦人はみな数珠を持ち、その祭壇に集います。
ああどうか私の為、男児キリストにお祈り下さい。
（Tenor Ⅰ、Tenor Ⅱ、Bass Ⅱ、Bass Ⅰの順に、下5度〔上4度〕カノン。）

合同演奏

アイヌのウポポ

ウポポとはアイヌ語で歌の事を意味します アイヌ人も私達と同様、独特の歌や踊りをもっています。アイヌの歌といえば、ユーカラを御存知だと思いますがそれをも含めてアイヌの歌はだいたい楽器を使用しないのが特徴です。そしてそのメロディーは半音階を好んで用い簡単な旋律を反復する原始的なものが多い様です。しかし、一見単調なこの歌も歌っていると何かを感じるのです。それは日本民謡とは異なる彼らの生活から生れた歌だからです。滅びゆくアイヌ民族の哀愁かもしれません。そこにアイヌ人の声を聞くことができるのです。

くじら祭

鯨が浜で上ったよ、目の見える人たち、行ってごらん

イヨマンテ（熊祭り）

アイヌ人には多くの踊りがあります。踊りのことをヘチリといいますがその中で最も有名なのが熊祭りの際に行われるイソヘチリです。これは熊を檻の中に入れてその周りで手拍手をうちながら歌い熊を元気づけける。そして次に熊を檻から出して花矢を射かけ首をしめて殺し天国に霊を送る。

ピリカピリカ

わらべ歌で単調なメロディーのくり返しです。歌は「今日は良いお天気だ。どなたがお好き、私がえらんであげよ」という意味です。

日食月食に祈る歌

アイヌの歌には神に捧げ神に祈る歌が多くありますが、これもその一つ。「光のカムイ（神様）あなたは死んでしまった。生き返って下さい」日食月食の時の彼らの切なる祈りの歌です。

恋歌これは乙女の恋の悲歌ですが全々じめじめした所がありません。恋らしからぬ恋歌と申しますがここにもアイヌ人独特の大まかさが出ていると思います。「林の木にもたれて小鳥囀りを聞く恋人は今ごろどうしていよう」ヤイサマネナははやし言葉です。

輪舞（リムセ）

この歌は全てはやし言葉からなっています 一般にアイヌの踊は男の踊をタプカといい、女の踊りをリムセと言います。これは祭りや祝の時に円く輪になって踊りながら歌います。特にリズムを強調した歌です。

関西学院
グリークラブ
KWANSEIGAKUIN GLEE CLUB

緑なす六甲の山並を背に、波静かな瀬戸内海を眼下に見下す高台、美しく静かな環境に恵まれた神戸原田の森の関西学院に、我国初の男声合唱団として、関西学院グリークラブが誕生したのは、19世紀もいよいよ最後という1899年のことでした。キリスト教精神によって建てられたこの学院には、創立当初からすでに音楽がありました。

明治29年以来、関西学院では毎年１回、英語会が催されていましたが、明治32年、そのプログラムに合唱を入れようということになり、初めて正式に合唱団が組織され、当時の吉岡院長がその合唱団を「ＧＬＥＥ　ＣＬＵＢ」と名付けました。これが日本の数あるグリークラブの始まりであり、我国最古の伝統を誇る関西学院グリークラブの起源であります。

この英語会で、グリークラブとして最初に演奏した曲は、現在なお歌い続けられている College Song "Old Kwansei" でありました。

以来68年間、関西学院グリークラブは、恵まれた学院の宗教的雰囲気と、内外の温い御指導、そして、何よりも歌うことの好きな幾多の先輩達の努力によって、はぐくみ育てられて参りました。

中でも山田耕筰、津川主一、由木康、林雄一郎、北村協一等の諸氏は私達の誇りとする大先輩であります。

６年前の第15回全日本合唱コンクールにおいて、我がグリークラブは、戦後通算12回目、昭和35年より３年連続優勝を成し遂げ、３年前には、昭和29年に続いて、二度目の名誉ある招待演奏を行ないました。又38年３月には我国合唱会初の海外演奏旅行として、約二週間、台湾を訪問して参りました。そして40年秋にはニューヨークで開催された世界大学合唱フェスティバルに日本代表として名誉ある招待をうけ、ニューヨークの桧舞台で大成功をおさめました。又歌を通じて世界中の学生と兄弟の契りを結んだのでした。

このように関西学院グリークラブは、今や日本の関学グリーから世界の関学グリーに成長発展しつつあります。今日も又、100余名の部員は、メンタルハーモニーをモットーに、より秀れた音楽を創り出そうと厳しい練習に励んでおります。

OLD KWANSEI

Tune ev'ry heart and ev'ry voice,
Throw ev'ry care away;
Let all with one accord rejoice,
In praise of Old Kwansei;
In praise of Kwansei Gakuin,
In praise of Old Kwansei,
Her sons will give, while they shall live,
Banzai Banzai, Kwansei !

No flow'ry chaplet would we twine,
To wither and decay;
The gems that sparkle in her crown
Shall never pass away,
Shall never pass away Kwansei;
Shall never pass away,
Her sons will give, while they shall live,
Banzai, Banzai, Kwansei !

関西大学
グリークラブ
KANSAI UNIV.
GLEE CLUB

関 西 大 学　学 歌

服部嘉香　作詞
山田耕筰　作曲

1. 自然の秀麗　人の親和
たぐひなき　この学園
我等　起つ　人生の曙に
さんたる理想　仰ぎつつ
学ぶは一途　純正の
若き心に　讃へなん
関西大学　関西大学
関西大学　永き歴史

2. 自由の尊重　自治の訓練
たぐいなき　この学園
我等期す　人格の向上に
正義の奉仕　世に為すと
希ふは一途　先進の
歩みさやかに　伝へばや
関西大学　関西大学
関西大学　高き権威

ほっとひと息つきたくなる創部20年目の今年、そこには決して安堵感を呼ぶものがあるのでもなければ、ましてや停滞を意味するものが内在しているのでもありません。昨年から御指導を受けることになった横田浩和先生と共に、内部充実に向かって新たな第一歩を踏み出そうとするエネルギーが静かに燃えている時期なのです。外部に飛び出すのを今か今かと得っている若者、いや若い関大グリーの真の姿なのです。

学生合唱団にとって、お互いの技術的向上から生まれる人間関係が望ましいのか、あるいはその逆が望ましいのか、考えてみれば表裏一体のこの議論のテーマ。その下をかいくぐるように、まず第一に個人的な音楽性の向上に始まる内部充実に目を向け出したのが、これをいよいよ長期的展望に立って実践しようとする関大グリーの新たな出発なのです。

多くの先輩諸兄が築いてこられた足跡がいかなるものであったか、又さらに今後いかなる努力が私達に必要かが、今年で第10回目を迎えようとする定期演奏会の大きな鏡の中に写る事でしょう。それが今から楽しみです。

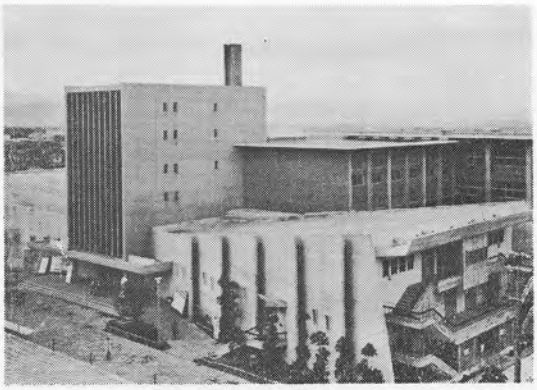
——5月9日、昨年暮の定期演奏会以来待望の大演奏会の今宵、私達は、今高なる鼓動と熱く燃える心とをどうしてもおさえる事が出来ません。無理からぬ事でしょうか。今宵は先輩合唱団と共に久々に神戸での演奏会を迎えたのですから。

ステージに立った今、この曲「大手拓次の三つの詩」を偽らぬ私達の姿と心とで演奏いたします。そして今宵の合唱が必ずや皆様の心に私達と同じ「感動」を残すのでは、と信じております。

お聴き下さい。今や伸びんとする関大グリーの若人の男声合唱を……

立命館大学
メンルネコール

RITSUMEIKAN UNIV.
MÄNNER CHOR



私達の合唱団は昭和21年に、音楽不毛の地とうたわれていた我が立命館大学に於てドレミ……の産ぶ声をあげました。

数名の歌の好きな者同志が集って始められたメンネルコールも、今年で22才を迎えました。この21年間に様々の曲折はあったが、古い伝統を誇る先輩合唱団の多い関西に於ても外見は遜色ないところまで伸びてきました。

今日、団員140名を擁する大合唱団に成長し、関西六大学合唱演奏会をはじめ、明治大学グリークラブとの交歓演奏会、夏には各地への演奏旅行、秋のコンクール参加、そして定期演奏会、送別演奏会ならびに春夏の合宿等の行事に、遮二無二取り組んできました。

しかし外見の高度成長に中身が伴わず、数々の醜態をさらし、メンネルの青年期の悩みは、まだまだ続きそうです。

私達はそのひとつ、ひとつの問題を摘出し、前向きの姿勢で解決にあたっています。この真摯な力こそ、次の充実したより良いメンネルの胎動なのです。

このように悩める青二才のメンネルコールが、若い力一杯奏る演奏が、今宵も、一人でも多くのファンを生みだしてくれればと念願しています。

立命館大学　校歌

作詩　明本京静
編曲　清水　脩

赤き血潮　胸に満ちて
　若人　真理の泉を汲みつ
仰げば比叡　千古の緑
　俯す眼に清しや加茂の流れの
鏡も尊し　天の命名
　見よ　我が母校
立命　立命

同志社
グリークラブ
DOSHISHA
GLEE CLUB

DOSHISHA COLLEGE SONG

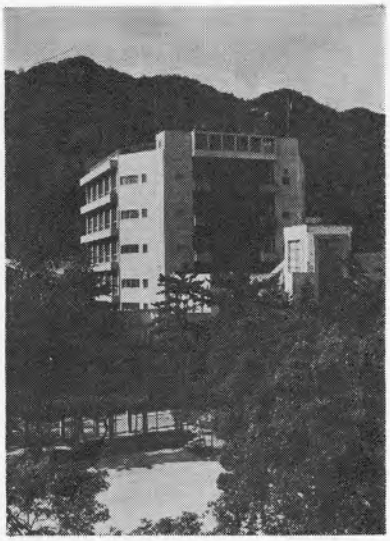
Words by W. M. Vories
Music by C. Wilhelm

One Purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for God and native land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' thro' the world we wander far and wide.
Still in our heart thy precepts shall abide.

Still broader than our land of birth
We've learned the oneness of our earth
Still higher than self-love we find
The love and service of man Kind
Dear Alma Mater sons of thine
Would strive to live the life devine.
That we may with increasing years have stood
For God, For Doshisha and Brotherhood

我クラブは今年で創立63年、現在部員100余名という大世帯で、その目的たる『同志社精神を戴し、メンバー相互のメンタルハーモニー・カレッジライフの向上』に不断の精進を続けております。明治34・35年頃は単に讃美歌を練習するための小グループだったのですが、明治44年現名誉顧問片桐哲先生がこれをグリークラブと名付け始めて組織化されました。しかし聖歌隊的なものに飽きたらない学生が大正二年プリムローズなる合唱団を組織、一般の合唱音楽の研究につとめるようになりました。以後両合唱団は、共に或いは別に活躍し、その足跡は遠く満洲、朝鮮、中国、台湾に及んでいます。昭和16年両合唱団は合併し、同志社大学男声合唱団となり、戦後いちはやく復活し、同志社グリークラブとして今日に至っております。その間、毎年の定期演奏会、東西四大学合唱祭、関西学院グリークラブとの交歓演奏会、関西六大学合唱演奏会、立教大学グリークラブとの交歓演奏会、テレビ、ラジオ放送、毎春夏の演奏旅行などに努力を続けて来ております。かくの如く半世紀を超る輝かしい歴史の間、700名近い先輩を送り、今なお音楽界で活躍中の内田栄一、大中寅二、湯浅永年、山口隆俊、宅孝二、水谷央、今西善治郎の諸氏もその一人であります。現在、福永陽一郎先生を技術顧問、大久保昭男先生をヴォイストレーナーとしてお迎えし、より高度な音楽の創造を目的になお一層前進せんと努力いたしております。

甲南大学
グリークラブ
KONAN UNIV.
GLEE CLUB



現代人は、顔を持っていない。全ての面相がドウランに塗り固められ、同一の仮面のロボット的な人々が、街のイルミネーションの中を鰯の群れのごとく何んの意志もなく泳ぎまわり、彼等は街の雑踏の中で、ラッシュの電車の中で、孤独を感じ、虚しさを感じ、それらを超越する術もなく、人間らしさを失い、機械の歯車化していく現代において、我が甲南グリーメンのみが各々自分の顔を持ち、合唱音楽を通じ、それらを超越し、人間味溢れる生活を営んでおります。我々は、人間性の回復を旨とし、今宵の演奏会においても、その人間性そのものを大きく打ち出そうとしているのです。現代の青年にありがちな刹那的享楽に耽ることなく、いつも清純な有意義な時間で包まれています。それは野郎ばかりで何の混り気もない裸の姿で、各人の感情を晒け出すことの出来る世界なのです。その時60余名の時間が一つに流れ、野郎の集団がエネルギッシュなものとなり、或る時は激動し或る時には、深い哀愁を帯び、又或る時は、ささやく様に歌い上げるのです。各人が異なった心を持って集まり、合唱を通じ一つのうたを歌い上げるのです。それは、まぎれもない一つの心なのです。今宵は、この野郎達の一つの心を御聞き下さい。きっと何かを感じられ、人間というものをもう一度考え、何かを得ていただけることと信じ、グリーメン一同自信を持って、一つの人間の心のうたを唱い上げるつもりで、おります。

甲南学園歌

作詩　寿岳文章
作曲　信時　潔

1. みはるかす　茅渟の海
　日にひかり　雨にけむり
　わこうどの　夢をさそう
　甲南　この学び舎
2. さわやかに　山のかぜ
　目にしたし　木々のみどり
　わこうどの　心は澄む
　甲南　この学び舎

神戸大学
グリークラブ
KOBE UNIV.
GLEE CLUB

×月×日

今日の練習は厳しかった。声は疲れて出ないというのに必至になってうたった。「それほどまでしてうたわなくとも……」と思ったが、ついつい力一杯うたってしまう。

今日は六連の演奏会を目指して練習だった。それにしても、うちのクラブもうまくなったものだ。一応、設定された仮の目標であるが、それにむかってひたすら前進しているという感じだ。六連の意義というのが、今、クラブ内で問題となっているが、私は、意義あると思うし、またそれだから積極的に取りくんでいるつもりだ。京都・大阪・神戸と隔った地にある六つの男声合唱団が、一堂に会して、それぞれの伝統・気風の上に、それぞれの歌をうたう。実に素晴しい事ではないか。演奏会までの練習過程は厳しいと思うが、その厳しさを乗り越えてこそ、本当の意義というものが見いだされるのではないだろうか。確かに、演奏会は、グリークラブにとって仮の目標ではあるが、練習・活動に一つの区切りをつける上においても、また、グリークラブの長所短所を知る点においても重要な場である。

いずれにしても、グリークラブは実にいいクラブだ。入ってよかったとしみじみ思う。大阪湾の大パノラマを眼下にみおろして、うたいつづけられた長い年月。その伝統・気風の上に、今年また三十余名の新入部員が加わった。新しい息吹は明日のグリークラブを支える力となるだろう。

今年は飛躍の年、部員も百名となった。日本合唱界の台風の目となっあばれてみたい。

それにしても、今日の帰り道の楽しかったこと。一千万弗の夜景を眺みながら、百名の部員がうたいながら歩いた。六甲の森に若い歌声がこだましていた。

明日もまたうたおう。

感動を求めて！

（神戸　大の日記より）

商　神

商神彩なす翅をあげて
　霊杖遙かに東を指せば
霊しき果実は雲間を漏りて
　秋津島根に落つとぞ見えし
所はここぞ菊水かおる
　湊河原の近きほとりに
かく伝わり天のさとしも
　人はさとらで幾年か経ぬ

第2回関西六大学合唱演奏会

演奏会責任者　大西　毅
副責任者　徳重光彦
デザイン　殿井　博
関西六大学合唱連盟常任委員
同志社グリークラブ　桧垣康治　小倉良介
関西大学グリークラブ　勇元秀己　前部俊二
関西学院グリークラブ　佐治孝真　中桐　汪
神戸大学グリークラブ　井手本克郎　大西　毅
甲南大学グリークラブ　有吉英二　森山　潤
立命館大学メンネルコール　河野正道　林　定孝
印刷所　藤原商会　神戸市生田区海岸通5-16　☎34-2927

明るく楽しい
お買ものは…
ハイセンス・エレガンス
★★サンノミヤSOGO★★

神戸三ノ宮
そごう
神戸(078)22-4181

楽しい散歩のオアシス

オリエンタル ホテル
地下アーケード　コーヒショップ
電話（33）8111（大代表）

洋菓子のコトブキ
★★★★★★★ 壽本舗 ★★★★★★★

KOTOBUKI
CONFECTIONERY
神戸市生田区北長狭通1-19・TEL神戸(078)-39-8681

やきとり 玉井
三宮町一丁目
TEL ㊴ 4401代

カラー写真　御見合写真

御婚礼写真の御用命は……

常磐写真館

神戸三宮センター街

TEL (33) 5834番

広東料理

牡丹園

元町店

神戸元町一丁目鯉川筋

電話 (39) 5141～3

花隈店

国鉄元町駅西口
西半丁北側

電話 (34) 2763・3708

3～2階　テーブル料理
　　すき焼・火鍋

1階　大衆食堂

中華料理

揚子江

三宮京町筋　TEL (39) 3974～6

総合園芸

花と植木のデパート

シンコーフラワーセンター

本店　三ノ宮トーアロード (電)代33—8971

売店　神戸国際会館前 (電)　23—2868

しゃれたセンス
東京モードの
お買物

神戸
三越
電話34－7471

龍　鳳

神戸で一番安くておいしい
北京料理　京町　龍鳳

龍鳳

● 各種大小御宴会
● 結婚御披露宴
● 和洋室有り

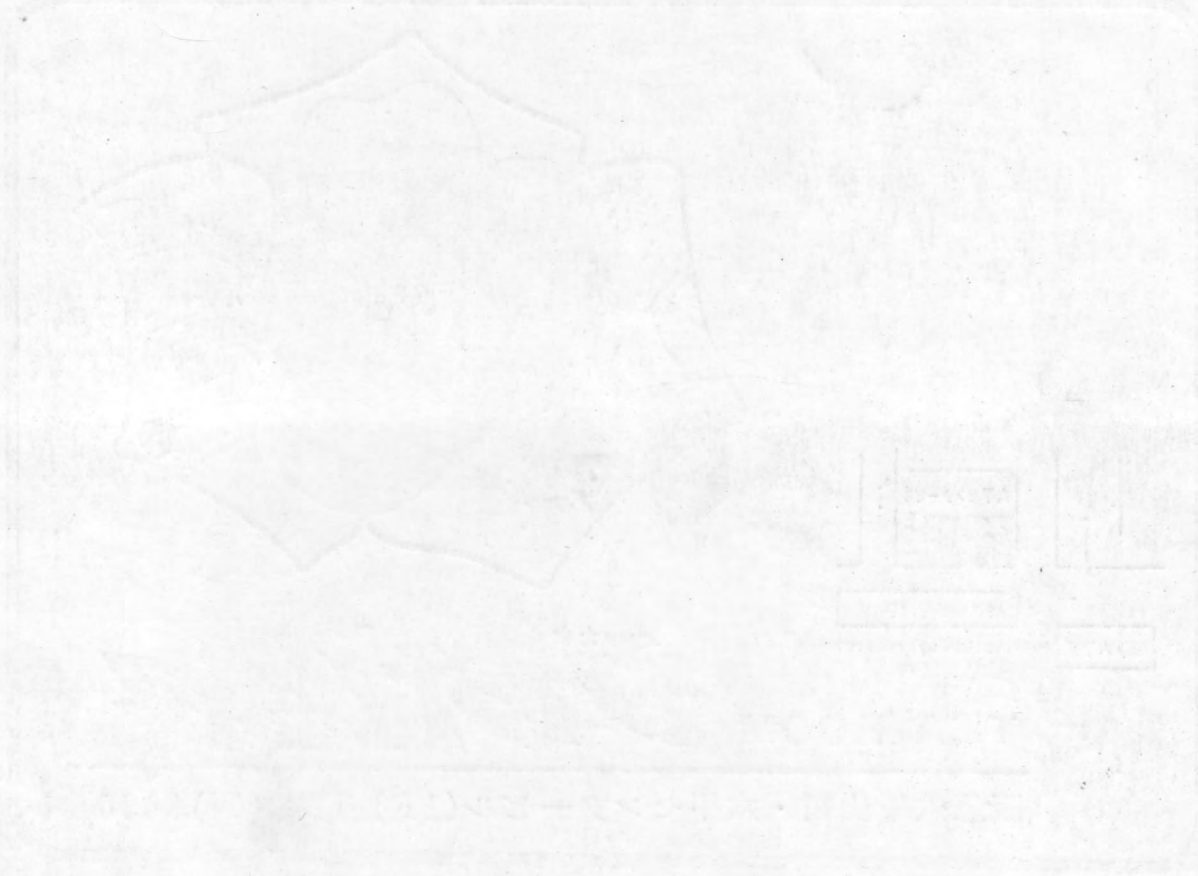
TEL(39)3715－7
サンキュー　ミンナイコウ

三宮ダンスクラブ

経営　銭富　貴

初心者大観迎

神戸三宮朝日会館前
TEL(33)8860

お食事とデイトコースには
"満足"と"安心"を売る店
ニュー ミュンヘン 神戸大使館
神戸・三宮・生田筋

しやれたセンスのめがね
世界各国のフレーム豊富取揃え
顕微鏡・望遠鏡・航海計器・光学品一般
服部メガネ店
神戸・大丸前　TEL 33－1123